

# 委託事業実施内容報告書

## 平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

### 【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 公益財団法人石川県国際交流協会

#### 1. 事業名称

「標準的なカリキュラム案」を活用した生活場面型クラスの立ち上げ・研修事業

#### 2. 事業の目的

文化庁「標準的なカリキュラム案」を参考とした生活上の行為の行動・体験中心の活動を、地域で暮らす外国人住民を対象とした県内の日本語教室に取り入れる。

#### 3. 事業内容の概要

生活上の行為の行動・体験中心の活動を県内の各教室に取り入れるため、IFIEが教材を作成し、実際の授業でそれを検証し、県内の各教室にその教材とノウハウを研修を通じて広める。

##### ①日本語教室の実施

IFIEにおいて「生活会話クラス」を立ち上げ、IFIEの嘱託講師(石川県日本語講師会)が授業を担当するとともに教材を作成する。IFIE内の交流型クラス、およびIFIE周辺の教室にも使用してもらい検証しながら内容を詰めていく。

##### ②養成、研修

IFIE嘱託講師とIFIE専任講師が協力して県内の日本語教室を回り、「生活場面クラス」についての研修を行う。

##### ③教材作成

①の教室運営、②の研修からのフィードバックを得て、生活上の行為の行動・体験中心の活動のための教材を作成する。

これらの教材作成、研修、授業の実施を、IFIE講師および石川県日本語講師会講師が協力して、各地域の教室で行うことで、IFIEでのノウハウを県内各地に知らせ、IFIEで教えている講師会講師にも地域日本語教室の課題を知ってもらい、今後の協力体制作りを行う。

#### 4. 運営委員会の開催について

##### 【概要】

| 回数 | 開講日時                     | 時間数 | 場所  | 出席者                 | 議題                                       | 検討内容                           |
|----|--------------------------|-----|-----|---------------------|------------------------------------------|--------------------------------|
| 1  | 平成26年11月28日14～15時        | 1時間 | 協会内 | 金谷由美<br>桜井正美<br>今井武 | 「生活者としての外国人」事業および「生活場面クラス」の趣旨、目標等についての説明 | 標準的なカリキュラム案からクラスに適したトピックを選択。   |
| 2  | 平成26年12月24日13時40分～15時40分 | 2時間 | 協会内 | 金谷由美<br>桜井正美<br>今井武 | トピックの選択                                  | 8回各授業の内容の選択と大まかな内容についての共通理解作り。 |
| 3  | 平成27年3月20日13～14時         | 1時間 | 協会内 | 金谷由美<br>桜井正美<br>今井武 | 反省会                                      | 生活場面クラスの課題と次回実施する際の課題について      |

#### 5. 日本語教育の実施

##### (1) 講座名称 生活会話クラス

##### (2) 目的・目標

外国人住民が日常よく出会う場面や話題を取り上げ、そこで必要となる生活に関する知識や、その話題について話す際に必要となる言語的な知識を提供し、クラス内の他の参加者との意見交換や会話練習を通して、日本での生活がよりスムーズになるようにする。

##### (3) 対象者 初級レベル以上

##### (4) 開催時間数(回数) 12時間 (全 8回)

##### (5) 使用した教材・リソース

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案より

(6) 受講者の総数 8人  
出身・国籍別内訳

|      |    |        |   |               |
|------|----|--------|---|---------------|
| 中国   | 4人 | インドネシア | 人 | シンガポール1、ロシア2、 |
| 韓国   | 1人 | タイ     | 人 |               |
| ブラジル | 人  | ペルー    | 人 |               |
| ベトナム | 人  | フィリピン  | 人 |               |
| ネパール | 人  | 日本     | 人 |               |

(7) 日本語教室の具体的内容

| 回数 | 開講日時                    | 時間数   | 場所     | 参加人数 | 国籍(人数)               | 取組のテーマ    | 授業概要                                     | 講師又は指導者名      | 補助者名 |
|----|-------------------------|-------|--------|------|----------------------|-----------|------------------------------------------|---------------|------|
| 1  | 平成26年12月8日(月)17～18時30分  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 7    | 中国3、シンガポール1、ロシア2、韓国1 | ゴミの分別     | ゴミの分別の方法、ゴミに関連したことば表現、ゴミ収集場での会話          | 金谷由美、桜井正美、今井武 | なし   |
| 2  | 平成26年12月15日(月)17～18時30分 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 4    | 中国1、ロシア2、シンガポール1     | 健康や病気     | 病院、診療科の種類、体の部位、病気になったら、病院での会話            | 桜井正美          | なし   |
| 3  | 平成26年12月22日(月)17～18時30分 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 2    | 中国1、シンガポール1          | 人ときあう     | 挨拶する、日本人とのミニ会話、年末年始のあいさつ                 | 金谷由美          | なし   |
| 4  | 平成27年1月19日(月)17～18時30分  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 3    | シンガポール1、ロシア2         | 消費する      | 店の種類、売り場を探す、スーパーでの会話、返品するときの会話           | 桜井正美          | なし   |
| 5  | 平成27年1月26日(月)17～18時30分  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 1    | シンガポール1              | 安全を守る     | 防犯、救急の基本知識、119番のかけ方、どうすれば犯罪に合わないか、防災のサイン | 金谷由美          | なし   |
| 6  | 平成27年2月2日(月)17～18時30分   | 1.5時間 | 協会内研修室 | 1    | 中国1                  | 移動する      | 交通機関の種類、時刻表の見方、道を聞く、切符を買う、旅行のプランを立てる     | 金谷由美          | なし   |
| 7  | 平成27年2月9日(月)17～18時30分   | 1.5時間 | 協会内研修室 | 2    | シンガポール1、ロシア1         | 働く(就職活動)  | 仕事を探す方法、自己PRを考える、履歴書を書く、面接を予約する、面接       | 桜井正美          | なし   |
| 8  | 平成27年2月16日(月)17～18時30分  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 3    | 中国2、シンガポール1          | 郵便、宅急便を送る | 郵便局でできること、局員との会話、再配達を依頼する                | 金谷由美          | なし   |

(8) 受講者の募集方法

当協会ホームページにて募集。チラシを協会内で配布。主に金沢市を中心に日本語教室、図書館、国際交流団体等にチラシを送付。

せいかつかいわ

# 生活会話クラス はじまります



みせ びょういん がっこう えき けいさつ  
 お店、病院、学校、駅、警察、  
 いえ きんじょ せいかつ つが  
 家の近所など、生活で使う  
 にほんご かいわ べんきよう  
 日本語の会話を勉強します。

このクラスでは、日本で生活するために必要な日本語を、毎回いろいろな場面について勉強します。日本語だけではなく、日本のルールや習慣についても勉強します。

むりよう

## 無料

free of charge

- 12月8日～2月16日
- 毎週 月曜日
- 17:00から18:30
- N5(初級後半)以上の人
- IFIE教室の先生が教えます

申し込み用紙を書いて、3階の  
オフィスに出してください。



(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

12月8日「ゴミ」

1. 導入 ゴミで困っていることはどんなことか。参加者から意見を出してもらう。
2. ゴミの分別ゲーム
  - ①ペアで金沢市の分別の仕方について話してみる
  - ②金沢市のゴミ分別パンフレットを配布
  - ③ゴミ分けゲーム
  - ④分別しにくいもののクイズ(PPT)
3. ゴミのことばシート 隣の人とチェック
4. なぜ分別する必要があるのか YouTubeで確認
5. ゴミ捨て場での立ち話会話1, 2

1月19日「消費する」

1. 導入 どこでよく買い物するか。ポイントカードあるか。店の人の日本語わかるか。
2. 店の種類: 店をカテゴリーに分け、それぞれのお店のメリットを聞く。
3. 買い物の際に困ることを聞く。
4. 売り場のことばを確認する。
5. 洋服を買う
  - ①返品したいとき、どうするか
  - ②返品を頼む時の会話
  - ③試着するときの会話

(10) 目標の達成状況・成果

参加した学習者に授業後に感想を聞いた。日本で生活するには大変大切な勉強であり、同じ内容をもう一回受講したいという声が聞かれる一方で、総じて参加者が少なかったこと(有料クラスには60名の受講者が在籍)と一回だけ出てその後来なくなってしまった人もいたことから、何がしかのミスマッチがこのクラスについてはあったのではと感じている。

学習者からの肯定的な評価としては、「会話がたくさんできた」という声があった。実際にはロールプレイの練習のようなものは授業の一部でしかなかったのだが、一回の授業がひとつのテーマで統一されていて、そのテーマについていろいろな角度から、新しい言葉を学んだり、意見を出しあったり、ロールプレイをしたりという体験ができたことが、前述の学習者の感想につながったのではないかと講師で話し合った。

テーマの選択については概ねよかったのではと思われるが、例えば「不在者連絡票」への対応の仕方などは、家族に任せてしまう、口頭ではなくネットで連絡するので日本語にはさほど困らないなど、授業で準備していた内容と参加者の実生活での対応にずれがある場合があった。できるだけずれがない方がよいと思うが、日本で生活する上で似たような対応を迫られる状況はほかにもあるはずなので、他の状況に対応するためにも今日は一例として連絡票への対応を練習してみよう等、なぜこの活動や練習に意味があるのかを学習者に納得してもらえようようなアプローチも重要なのではないかと考えられた。

今回授業に参加した学習者は、比較的日本語が流暢な人が集まったが、それでも電話の対応で自分の家の住所がきちんと言えなかったり、発音が悪くて町の名前が聞き取れなかったりなど、生活の基本的な部分でまだまだ不十分なことがあることもわかった。おそらくは本人たちもそれに気づくことができたのではないかと考えられ、より多くの学習者に生活会話の授業を体験しても得るよう、実施時期、時間、形態などを変更し、再度実施したいと考えている。

(11) 改善点について

学習者からは実施時間帯を昼間にしてほしかったという声も聞かれた。またコースの開始時期が真冬になってしまったことで日没も早く、通いにくかったのではないかと感想が講師からも聞かれた。実施時期を秋から12月以前とし、午後の早い時間帯に開催することも次回検討したい。また、各回自由参加としたが、全ての回に参加した人に修了証を出すなど、参加動機を高めるような対策も必要だったと思う。

(1) 講座名称 にこにこ話そうクラス

(2) 目的・目標

外国人住民と日本人住民が気軽に交流できる場を提供する。外国人住民が日本での生活をスムーズにするための生活情報や日本語学習の機会も提供する。

(3) 対象者 外国人住民

(4) 開催時間数(回数) 64. 5時間 (全 43回)

(5) 使用した教材・リソース

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案、新聞、雑誌、インターネット動画サービス、日本語能力試験対策テキスト等

(6) 受講者の総数 31人

出身・国籍別内訳

|      |     |        |    |                                |
|------|-----|--------|----|--------------------------------|
| 中国   | 16人 | インドネシア | 人  | 台湾2人、スイス1人、マレーシア1人、スペイン1人、不明2人 |
| 韓国   | 4人  | タイ     | 2人 |                                |
| ブラジル | 2人  | ペルー    | 人  |                                |
| ベトナム | 人   | フィリピン  | 人  |                                |
| ネパール | 人   | 日本     | 人  |                                |

(7) 日本語教室の具体的内容

| 回数 | 開講日時                     | 時間数   | 場所     | 参加人数 | 国籍(人数)            | 取組のテーマ    | 授業概要                         | 講師又は指導者名 | 補助者名                     |
|----|--------------------------|-------|--------|------|-------------------|-----------|------------------------------|----------|--------------------------|
| 1  | H26年4月4日<br>(金)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 4    | タイ1、中国2、韓国1       |           | 各自「にほんご宝船」の好きなページを使った。       | 今井武      | 上田、磯貝、<br>富山             |
| 2  | H26年4月10日<br>(木)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 5    | タイ2、中国3           |           | 各自やりたいことを。新聞を読む、初級文法など。      | 今井武      | 島村、磯貝、<br>大澤、金森          |
| 3  | H26年4月18日<br>(金)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 8    | タイ2、中国5、韓国1       |           | グループに分かれて活動。                 | 今井武      | 島村、磯貝、<br>富山、大澤、<br>林、深田 |
| 4  | H26年4月24日<br>(木)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 5    | タイ2、中国3           | ゴールデンウィーク | グループに分かれて、どんな計画があるか話した。      | 今井武      | 當波、大澤、<br>深田             |
| 5  | H26年5月2日<br>(金)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 6    | タイ1、中国5           |           | 最近の出来事について絵を描いて説明する。         | 今井武      | 柳川、富山、<br>大澤、林、深田        |
| 6  | H26年5月8日<br>(木)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 5    | タイ1、中国3、ブラジル1     | ゴールデンウィーク | ゴールデンウィークに何をしたら話す。           | 今井武      | 島村、當波、<br>磯貝、大澤、<br>森    |
| 7  | H26年5月16日<br>(金)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 6    | タイ1、中国3、ブラジル1、不明1 |           | グループに分かれて活動。子育ての相談など。        | 今井武      | 上田、富山、<br>大澤、金森、<br>森    |
| 8  | H26年5月22日<br>(木)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 3    | タイ1、中国2           |           | グループに分かれて活動。韓国料理の作り方など。      | 今井武      | 島村、當波、<br>林、深田           |
| 9  | H26年5月30日<br>(金)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 6    | タイ1、中国4、ブラジル1     |           | グループに分かれて活動。「にほんご宝船」等を使って。   | 今井武      | 柳川、上田、<br>磯貝、大澤、<br>深田   |
| 10 | H26年6月5日<br>(木)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 2    | 中国2               | 忘れ物       | 忘れ物をしたときに忘れ物の特徴を説明する         | 今井武      | 磯貝、深田                    |
| 11 | H26年6月13日<br>(金)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 3    | タイ1、中国2           |           | グループに分かれて活動。                 | 今井武      | 柳川、大澤                    |
| 12 | H26年6月19日<br>(木)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 4    | 中国2、ブラジル1、不明1     |           | グループに分かれて活動。電話の伝言や受け身形など。    | 今井武      | 島村、上田、<br>磯貝、大澤          |
| 13 | H26年6月27日<br>(金)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 3    | タイ1、中国1、ブラジル1     |           | グループに分かれて活動。丁寧語、レストランについてなど。 | 今井武      | 上田、深田                    |
| 14 | H26年7月3日<br>(木)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 2    | 中国2               | 七夕        | 七夕の習慣について。ほかにJLPT準備など。       | 今井武      | 上田、當波、<br>磯貝             |
| 15 | H26年7月11日<br>(金)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 2    | 中国2               | お盆        | お盆の習慣について。各国の帰省事情。           | 今井武      | 大澤、金森                    |
| 16 | H26年7月17日<br>(木)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 2    | 中国2               | 梅雨        | 梅雨の時期の過ごし方について。              | 今井武      | 島村、磯貝、<br>大澤             |
| 17 | H26年7月25日<br>(金)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 1    | 中国1               | 祭り、花火     | 日本や各国のお祭りについて。               | 今井武      | 上田                       |
| 18 | H26年8月7日<br>(木)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 1    | 中国1               |           | 週末に何をしたか。                    | 今井武      | 上田、深田                    |
| 19 | H26年8月22日<br>(金)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 1    | 中国1               |           | 夏の過ごし方。旅行について。               | 今井武      | 島村、上田                    |
| 20 | H26年8月28日<br>(木)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 2    | 中国2               | 掃除        | 掃除や台所に関係のあることば。              | 今井武      | 島村、富山                    |

|    |                           |       |        |    |                     |            |                                                   |     |                      |
|----|---------------------------|-------|--------|----|---------------------|------------|---------------------------------------------------|-----|----------------------|
| 21 | H26年9月5日<br>(金)15-16:30   | 1.5時間 | 協会内研修室 | 3  | 中国3                 |            | 小さなグループに分かれて活動。                                   | 今井武 | 柳川、金森                |
| 22 | H26年9月11日<br>(木)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 4  | 中国3、韓国1             | デング熱、防災    | 病気について知っていることを教え合う。ほかに敬語プリントなど。                   | 今井武 | 上田、當波、金森             |
| 23 | H26年9月19日<br>(金)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 5  | 中国5                 |            | グループに分かれての活動。                                     | 今井武 | 島村、富山、大澤、金森、林        |
| 24 | H26年9月25日<br>(木)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 6  | タイ1、中国4、韓国1         | 新幹線        | 先週の様子。北陸新幹線。グループに分かれて活動。                          | 今井武 | 島村、磯貝、荒川             |
| 25 | H26年10月3日<br>(金)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 10 | 中国7、韓国3             | 御嶽山事故      | ニュースのことば。その後グループに分かれて、語彙の勉強など。                    | 今井武 | 島村、上田、磯貝、大澤、金森、綿谷    |
| 26 | H26年10月9日<br>(木)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 8  | 中国4、韓国2、スイス1、マレーシア1 |            | グループに分かれて活動。                                      | 今井武 | 島村、當波、磯貝、大澤、林、荒川     |
| 27 | H26年10月17日<br>(金)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 12 | 中国9、韓国3             | キャラ弁       | 一週間の出来事について話す。各国のお弁当事情について紹介し合う。                  | 今井武 | 上田、磯貝、大澤、金森          |
| 28 | H26年10月23日<br>(木)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 8  | 中国7、韓国1             | クイズ        | 各自で問題を作ってクイズをした。                                  | 今井武 | 上田、當波、磯貝、大澤          |
| 29 | H26年10月31日<br>(金)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 8  | 中国4、韓国3、台湾1         | ステレオタイプ    | 一週間の出来事について話した。YouTubeのステレオタイプについての映像を見てディスカッション。 | 今井武 | 島村、上田、磯貝、富山、大澤、金森、荒川 |
| 30 | H26年11月6日<br>(木)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 5  | 中国3、韓国1、スペイン1       | 能          | サポーターが作った能面を見せてもらい、能や面作りについて話した。                  | 今井武 | 上田、當波、大澤、金森、林、曾我     |
| 31 | H26年11月14日<br>(金)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 6  | 中国5、韓国1、スペイン1       | 死ぬまでにしたいこと | 死ぬまでにしてみたいことを書いて、皆で共有する。                          | 今井武 | 島村、磯貝、富山、大澤          |
| 32 | H26年11月20日<br>(木)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 4  | 中国3、韓国1             | 街探検        | 駅のアファッションビルなどへ行ってお店をしてみる。                         | 今井武 | 柳川、磯貝、林、曾我           |
| 33 | H26年11月28日<br>(金)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 5  | 中国3、タイ1、スペイン1       |            | 街探検の感想。グループに分かれて活動。冬の料理についてなど。                    | 今井武 | 柳川、磯貝、富山、荒川          |
| 34 | H26年12月4日<br>(木)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 2  | 中国1、韓国1             | インフルエンザ    | 一週間の出来事を紹介。その後インフルエンザの予防についてなど。                   | 今井武 | 島村、當波、磯貝             |
| 35 | H26年12月12日<br>(金)15-16:30 | 1.5時間 | 協会内研修室 | 3  | 中国2、タイ1             |            | 一週間の出来事について話し、グループに分かれて活動。                        | 今井武 | 上田、磯貝、金森、荒川          |
| 36 | H27年1月9日<br>(木)15-16:30   | 1.5時間 | 協会内研修室 | 2  | 中国2                 | 新年         | 新年の過ごし方について、各国の紹介など。                              | 今井武 | 島村、上田、富山             |
| 37 | H27年1月15日<br>(木)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 3  | 中国2、タイ1             | 坊主めくり      | お菓子を持ち寄って、お正月のゲームを紹介し合う。                          | 今井武 | 上田、磯貝、荒川             |
| 38 | H27年1月23日<br>(木)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 3  | 中国2、タイ1             | 「ゴミ」       | 一週間の出来事について話し、生活会話クラス「ゴミ」の一部を実施。                  | 今井武 | 島村、上田、富山、荒川          |
| 39 | H27年2月12日<br>(木)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 6  | 中国5、韓国1             | 「消費する」     | 一週間の出来事について話し、生活会話クラス「消費する」の一部を実施。                | 今井武 | 島村、當波、磯貝、大澤、金森       |
| 40 | H27年2月20日<br>(木)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 5  | 中国3                 | 春節         | 中国の旧正月の様子を教えてもらった。                                | 今井武 | 上田、磯貝、大澤、荒川          |
| 41 | H27年2月26日<br>(木)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 3  | 中国3                 | 「日本人とつきあう」 | 帰国する友だちへ向けてのメッセージカード作り。生活会話クラス「日本人とつきあう」一部実施。     | 今井武 | 島村、上田、磯貝、林           |
| 42 | H27年3月6日<br>(木)15-16:30   | 1.5時間 | 協会内研修室 | 3  | 中国2、タイ1             | ニュース       | 一週間の出来事について話し、最近のテレビニュースについて話す。                   | 今井武 | 磯貝、富山、大澤             |
| 43 | H27年3月12日<br>(木)15-16:30  | 1.5時間 | 協会内研修室 | 3  | 中国2、タイ1             | 東日本大震災     | 一週間の出来事について話し、東日本大震災のとき何をしていたか話す。                 | 今井武 | 島村、當波、大澤、金森          |

## (8) 受講者の募集方法

協会内にチラシを掲示。協会HP、フェイスブックページで広報。

### はな にここ話そうクラス Nikoniko hanasou kurasu よてい - 3月の予定 -



こんなことができます。

- 日本語を もっと 話したい。いろいろな話題を 話したい。
- クラスで聞けない質問がしたい。
- 漢字の勉強や就職のための勉強などを手伝ってほしい。
- You can choose what you are going to study with Nihongo supporter.

3月 6日(金) 12日(木)  
20日(金)  
時間 : 午後3時10分~4時30分  
場所 : リファール4階 研修室1

質問 Question は・・・今井(いまい)  
076-222-5931 koshi1@ifie.or.jp



## (9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

2月20日の授業例

1. 一週間の出来事をグループに分かれて話し合う。

発表するだけでなく、質問をし合い、発表をするのは外国人だけでなく日本人もするようにする。

2. 春節

①中国の春節についてのテレビニュースを見る。

②春節について、いつ、どこで、どんなことをするかを小グループでまとめる。国、地域での違いに留意して発表、質疑応答。

3. 各自の自由活動

残った時間は、各グループで好きな活動を行う。

3月12日の授業例

1. 一週間の出来事をグループに分かれて発表し合う。

発表するだけでなく、質問をし合い、発表をするのは外国人だけでなく日本人もするようにする。

2. 東日本大震災

①東日本大震災があった3月11日にどこで何をしていたかグループで話し合う。

②東日本大震災の被災地を中国のテレビキャスターが訪れるテレビ番組の一部を皆で見て、感想を話し合う。

3. 各自の自由活動

残った時間は、各グループで好きな活動を行う。

## (10) 目標の達成状況・成果

毎回日本語サポーターには終了後に感想を聞いている。また、3か月に一回程度食事会などを兼ねて感想を聞く機会を持っている。学習者からもざくばらんに授業の感想を聞く機会が多い。

外国人住民、日本語サポーターともに、多くの回に参加する中心メンバーができてきた。それらのメンバーを中心に、日本語を使って交流したり、情報交換したりすること自体を楽しむ雰囲気が出てきた。

参加している外国人住民から、「ここでなら日本語をいろいろ気にせず使うことができる」「自由に好きなことを話せるのがよい」「ゆっくり自分のペースで勉強できる」等の答えが聞かれた。

サポーターも受け身ではなく、自分の得意分野についてクラスで発表したり、コーディネーターがいない日でも自分たちで協力し合い運営ができるようになってきた。

金沢を離れるメンバーの送別会を開いたり、参加者の飲食店に皆で行ったりするなど、教室外へ人間関係が広がっていている。

## (11) 改善点について

新規の外国人参加者が1, 2回で辞めてしまう例も多く、違ったニーズに応えられていない可能性がある。クラスをどのような方向に進めていくべきなのか、サポーター間の話し合いが必要。

生活場面クラスで作成した教材も含め、既存の教材を積極的に使おうとするサポーターも少なく、参加者の希望に沿ったサポートができるよう、サポーターの再研修等も必要である。

## 6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

- (1) 講座名称 日本語サポーター研修会 生活会話クラス研修会
- (2) 目的・目標  
(公財)石川県国際交流協会で実施した「生活会話クラス」の内容や教材を県内の日本語教室に紹介し、各教室での日本語授業・教室活動に役立ててもらおう。
- (3) 対象者 石川県内の日本語教室で教える日本語講師／サポーター
- (4) 開催時間数(回数) 9時間 (全5回)
- (5) 使用した教材・リソース 生活会話クラス使用教材「ゴミ」「消費する」「日本人とつきあう」
- (6) 受講者の総数 32人  
出身・国籍別内訳

|      |   |        |     |
|------|---|--------|-----|
| 中国   | 人 | インドネシア | 人   |
| 韓国   | 人 | タイ     | 人   |
| ブラジル | 人 | ペルー    | 人   |
| ベトナム | 人 | フィリピン  | 人   |
| ネパール | 人 | 日本     | 32人 |

### (7) 養成・研修の具体的内容

| 回数 | 開講日時                  | 時間数   | 場所            | 参加人数 | 国籍(人数) | 取組のテーマ           | 授業概要                                            | 講師又は指導者名 | 補助者名 |
|----|-----------------------|-------|---------------|------|--------|------------------|-------------------------------------------------|----------|------|
| 1  | H27年2月20日(金) 13-15時   | 2時間   | 石川県国際交流ラウンジ   | 6人   | 日本6    | 「日本人とつきあう」「消費する」 | 生活会話クラス概要の説明。教室での実践例を紹介。季節の挨拶を考える。              | 金谷由美     | なし   |
| 2  | H27年3月9日(月) 14-16時    | 2時間   | 野々市市役所        | 3人   | 日本3    | 「日本人とつきあう」「消費する」 | 生活会話クラス概要の説明。教室での実践例を紹介。季節の挨拶を考える。              | 金谷由美     | なし   |
| 3  | H27年3月5日(木) 13-15時    | 2時間   | 白山市国際交流サロン    | 13人  | 日本13   | 「日本人とつきあう」「消費する」 | 生活会話クラス概要の説明。教室での実践例を紹介。季節の挨拶を考える。              | 桜井正美     | なし   |
| 4  | H27年3月9日(金) 19-20:30  | 1.5時間 | 輪島市ふれあい健康センター | 8人   | 日本8    | 「ゴミ」「消費する」       | 生活会話クラスの概要の説明。「ゴミ」授業の紹介。「消費する」教材を考える。           | 今井武      | なし   |
| 5  | H27年3月19日(木) 19-20:30 | 1.5時間 | 輪島市ふれあい健康センター | 8人   | 日本8    | 「日本人とつきあう」       | 地域の日本語教室で使う教材を考えてみる。情報提供、イベント参加、会話作成の3パターンを考える。 | 今井武      | なし   |

### (8) 受講者の募集方法

県内の各日本語教室にチラシを送付し開催教室を募った。

## 日本語サポーター研修会 開催教室募集

～「生活会話クラス」の紹介～



IFIE で昨年から開催している「生活会話クラス」について、皆さんの教室に何って紹介します。皆さんのクラスでも「生活会話クラス」の教材や内容を使ってみませんか？

|          |                                                                                                       |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 研修内容     | IFIE の「生活会話クラス」について、クラスのコンセプト、教材の紹介、授業の進め方などを、参加者に授業を体験してもらいながら紹介します。時間があれば、教材を考える活動もしたいと思います。        |
| 生活会話のテーマ | 「ゴミを分別する」「健康や病気について」「日本人とつきあう」「買い物をする」「移動する」「働く」「いろいろなサービスを使う」の中から紹介します<br>*文化庁「標準的なカリキュラム案」を参考にしています |
| 実施期間     | 平成27年1月～3月                                                                                            |
| 時間・回数    | 2～3時間×1, 2回<br>*目安ですので、ご相談して決めたいと思います。                                                                |
| 講師       | 石川県国際交流協会講師または石川県日本語講師会講師                                                                             |
| その他      | 講師謝金、旅費は必要ありませんが、開催団体には会場の確保、参加者の募集をお願いします。                                                           |

お申込みは下記まで申込書をお送りください。締切1月30日

(公財)石川県国際交流協会 今井

koshi1@ifie.or.jp Fax:076-222-5932 Tel:076-222-5931



(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

3月9日(月)輪島市研修第1回

ふれあい健康センター和室に6名のサポーターと2名の市役所職員が参加。

1. 生活会話クラスについて概要説明  
目標、時間、回数、各回の内容、参加者の内訳、参加者の感想、今後の取組予定等について説明。
2. 「標準的なカリキュラム案」について説明  
生活上の行為の分類一覧等を配布し、カリキュラム案について説明。
3. 生活場面クラス授業の紹介  
「ゴミ」の会を例に、導入のディスカッション、ゲーム、YouTube映像、ことばリスト、会話練習、小作文と授業の順を追って、内容を紹介、授業を体験。

3月19日(木)輪島市第2回研修

1. にこにこ話そうクラスでの取り組み説明  
クラス概要、生活行為の取り上げ方
2. 愛知県国際交流協会の教材紹介  
他団体と連携した活動の紹介
3. 輪島市で実施可能な活動を考える。

(10) 目標の達成状況・成果

各実施教室の代表者から感想、意見を聞くとともに、各教室で研修を行った講師が参加者に感想を聞いてきた。

4教室いずれからも肯定的な評価をもらったが、外国人住民の地域での生活に役立つ形でどのように日本語を教えればよいか悩む教室が多かったようで、教え方、授業内容のひとつのモデルをもらったという声が複数の教室から聞かれた。

また、これは毎年出てくる感想だが、同じ教室の講師同士で研修を受ける機会自体が貴重で、研修会の課題で授業内容についてペアやグループで考えること自体がとてもよかったという声がいずれの教室からも聞かれた。特に今回は作成した教材を紹介するだけでなく、どのような教材を各教室で作れるかということの後半に持ってきたのが好評だったようである。

ただ教室の課題はそれぞれに異なっており、すでに相互交流型を積極的に取り入れているので、生活行為にフォーカスして授業を組み立てることもすんなり受け入れてくれた教室もあれば、サポーター間で授業方針について意見が異なっており、新しい授業の進め方をすぐには受け入れにくいところもあった。

(11) 改善点について

他事業との兼ね合いで研修会の実施時期が年度の終わりになってしまう、いずれの教室も学習者が減る時期でもあり、また研修会後のフォローもしにくいいため、なんとか春または冬の早い時期に各教室への出張講座が実現できるよう努力したい。

各教室からの感想にもあったが、各地で研修を行うことだけでも自分たちのふだんの授業や活動を見直す機会になるという声も多く、授業内容を見直すにより時期に研修や訪問が行えるような形に業務内容を少しでもい直せればと思っている。



## 7. 日本語教育のための学習教材の作成

- (1) 教材名称 生活会話クラス教材
- (2) 対象 初級後半レベル以上の日本語学習者
- (3) 目的・目標

石川県に住む外国人住民が日常生活の中でよく出会う場面や事柄について、教室の参加者同士が意見を交換し合いながら、社会文化的な情報・知識、その場で必要となる日本語表現について学ぶ。

- (4) 構成・総ページ数  
PPTと配布プリントで構成。

- (5) 教材作成会議の開催について

### 【概要】

| 回数 | 開講日時                                        | 時間数   | 場所    | 出席者               | 議題                    | 検討内容                         |
|----|---------------------------------------------|-------|-------|-------------------|-----------------------|------------------------------|
| 1  | 平成26年<br>11月27日<br>(木)14-<br>16時            | 2時間   | 協会会議室 | 桜井正美 金谷<br>由美 今井武 | 生活会話クラスコース教材および授業内容検討 | コース全体の内容の見直し。第1回、第2回の教材・内容検討 |
| 2  | 平成26年<br>11月28日<br>(金)11-<br>12時半           | 1.5時間 | 協会会議室 | 桜井正美 金谷<br>由美 今井武 | 生活会話クラスコース教材および授業内容検討 | 第2回、第3回の教材・内容検討              |
| 3  | 平成26年<br>12月10日<br>(水)15時<br>10分～16<br>時10分 | 1時間   | 協会会議室 | 桜井正美 金谷<br>由美     | 生活会話クラスコース教材および授業内容検討 | 第3回、第4回の教材・内容検討              |
| 4  | 平成26年<br>12月18日<br>(木)13-<br>14時            | 1時間   | 協会会議室 | 桜井正美 金谷<br>由美     | 生活会話クラスコース教材および授業内容検討 | 第4回、第5回の教材・内容検討              |
| 5  | 平成27年<br>1月16日<br>(金)13-<br>15時             | 2時間   | 協会会議室 | 桜井正美 金谷<br>由美     | 生活会話クラスコース教材および授業内容検討 | 第5回、第6回の教材・内容検討              |
| 6  | 平成27年<br>2月5日<br>(木)13-<br>15時              | 2時間   | 協会会議室 | 桜井正美 金谷<br>由美     | 生活会話クラスコース教材および授業内容検討 | 第6回、第7回の教材・内容検討              |
| 7  | 平成27年<br>2月13日<br>(金)13時<br>30分-15<br>時     | 1.5時間 | 協会会議室 | 桜井正美 金谷<br>由美     | 生活会話クラスコース教材および授業内容検討 | 第8回の教材・内容検討                  |
| 8  | 平成27年<br>3月20日<br>(金)14-<br>15時             | 1時間   | 協会会議室 | 桜井正美 金谷<br>由美     | 生活会話クラスコース教材および授業内容検討 | 教材全体の見直し                     |

- (6) 使い方

8回分の教材はそれぞれ1時間半での授業を想定して作られている。回によって構成や授業の進め方は異なるが、学習者の経験や知識を確かめ、クラス内でやりとりをしながら進めることが大切である。それぞれのテーマに関係のある写真等をパワーポイントのスライドに取り込んである。それらを見ながら、教師と学習者、また学習者間がやりとりすることが大切である。参加者の日本での経験や、母国の習慣や状況と違っている点などについても、積極的に授業の中で取り上げ、一方的に日本の慣習ややり方を伝える授業にならないよう配慮する必要がある。

- (7) 具体的な活用例

「標準的なカリキュラム案」の「教材例集」などを参考にして、配布プリントを用意した。各課のテーマに関係のある写真や動画をパソコン等で見せながら、それらのプリントといっしょに使い、学習者の経験や知識を引き出して、テーマについて十分に話し合い、やりとりを重ねる。

- (8) 成果物の添付 別ファイルとして添付する

## 8. 事業に対する評価について

### (1) 事業の目的

文化庁「標準的なカリキュラム案」を参考とした生活上の行為の行動・体験中心の活動を、地域で暮らす外国人住民を対象とした県内の日本語教室に取り入れる。

### (2) 目標の達成状況・事業の成果

これまで当協会の地域日本語教育に関する事業では、専任講師がほとんどを担当することが多かったが、今回の事業では、生活会話クラス授業、教材作成、研修会の三つの事業を、協会専任講師1名、石川県日本語講師会講師2名の計3名で全て分担して担当した。日本語授業、研修会の成果については、講師が各参加者から意見を聞き、それを運営委員会等で共有した。

事業の成果としては、まず、地域日本語教育に関する事業について、協会専任講師、石川県日本語講師会講師が協力して事業を行ったこと自体が成果である。

これまで、地域日本語教育に関する事業は、主に専任講師1名が単独で行ってきた。また協会で行っている日本語クラスでも、レベル別の有料クラスは同講師会が受け持ち、より地域に根差した形を目指す、相互交流型のクラスは専任講師がコーディネーターとなり、ボランティアベースのサポーターと協力して行うという分業式だった。

今回2名の講師会講師が地域の教室とより深く関わったことで、協会内の他の日本語講師(18名在籍)にも、地域日本語教育に関連した事業について、より深く新たに関わって行こうとする機運が生まれることを期待している。

生活会話クラスおよび同研修会については、参加者数については開催時期の見直し等対応の必要があるが、いずれも授業の中でいったい何を教えたらいいいのかという戸惑いからは一歩先へ進めたのではないかと実感している。

生活行為にフォーカスして参加者同士のやりとりを通して体験型の授業を行うことだけが、地域日本語教室の授業内容にならなくてよいと思うが、学習者に対しても、県内の研修会参加教室に対しても、授業のひとつのモデルを提示できたのではないと思う。

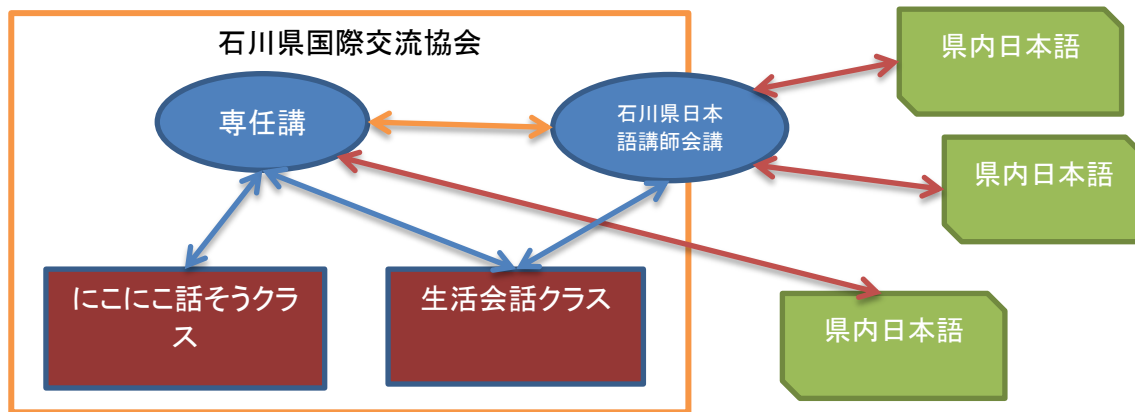
今後は、教材や授業の内容を洗練していくことと、県内の他教室とウェブ上などでどのように教材を共有していくか、継続的に使い方の指導や研修をいつどのように行っていくかを考えていくことだと思われる。

### (3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

標準的なカリキュラム案の生活行為の中から、講師3名で検討し、生活会話クラスおよび同研修会で取り上げるトピックを決め、教材例があるものについてはその内容を参考にした。学習者が日常生活で接する場面を自分たちで一から考えるのは非常に手間がかかり、大変参考になった。

ただ、地域日本語教室のうち、経験の少ない教師しかいないような教室が、カリキュラム案5点セットを使いこなすのは難しく、今回の研修会のように、このような使い方をしてみたので使ってみてはどうですか？とひとつの選択肢として検討を促すような機会が、普及には大切なのではないかと感じた。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等



今回の事業では、石川県日本語講師会講師との連携協力が大変重要であった。これまで地域の日本語教育にはあまり関わりのなかった教師団体だが(主として海外から大学生を招く石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラムの日本語授業を担当している)、当協会の日本語授業のほとんどを担当しており、18名の講師がいる。今後、地域日本語教育においても同講師会の力を借りることができれば、より機動的に研修などが行える可能性がある。

(5) 改善点、今後の課題について

最も改善の必要があるのは、生活会話クラス、研修会ともに参加者の数がもうひとつ伸びなかったことである。大きな原因は開催時期が冬の時期になってしまったことだが、当協会には夏から秋にかけて海外からの石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラム(IJSP)参加者が多くあり、石川県日本語講師会と協力して事業を進めるためには、同講師会が授業を担当しているIJSPの繁忙期は避ける必要がある。現在の、教材の検討・作成⇒当協会内での教室実施⇒県内での研修という流れを、一部重ねて行ったり、県内教室での研修を一部春の時期に持っていくなどの調整を行い、冬の時期を避けて早めに開催できるようにする必要がある。

「標準的なカリキュラム案」を使った日本語授業については県内のほとんどの教室に最低限の情報は伝わったものと思われる。今後は、各教室の状況や実情に合わせて、他の選択肢も含めて、どのような日本語授業が行えるか、継続的にアドバイスしていけるような態勢を作ることが大切なのではないかと思われる。

当協会では地域日本語教育以外のIJSPの仕事量が増えてきており、今後石川県日本語講師会との協力なしには、教材の作成や県内教室の調査・研修も難しい状況である。講師会の講師に地域日本語教育の実情と意義を理解してもらい、どのような協力体制を作っていくかも今後の課題である。

(6) その他参考資料

必要なものは添付